

全体概要

2023（令和5）年度は、コロナの影響からようやく抜け出した実感のもてた年であった。特に収益の柱であった友愛の丘施設事業は、大きな影響を被ったが、今年の売り上げはコロナ前にほぼ戻ったと言える。しかしこの間、利用費の値上げも実施しており、にぎわいの完全回復にはあと一步と言うところである。大正池グリーンパークはコロナの影響をあまり受けなかったが、今年度の売り上げは減少した。この原因は昨年までのアウトドアブームによって近隣同業者が一気に増加し、行き先の選択肢が増えたからかもしれない。友愛の丘、大正池グリーンパークともに施設独自の魅力を見せる工夫が必要であるだろう。

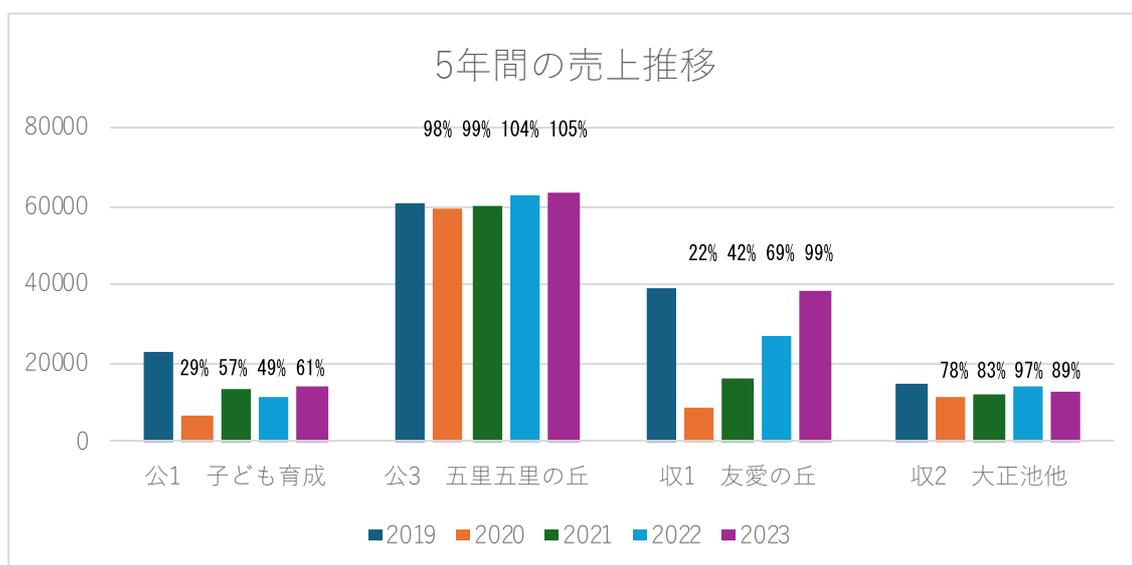


図1 5年間の売上推移（千円） 割合は2019年度を100%としたときの割合

城陽五里五里の丘の指定管理事業は3期目の2年目となった。公園の知名度がさらに上がり、団体や企業からイベントの提案が持ち込まれることが多くなった。本園にはこれを収益に繋げる受け皿がなかったため、受け入れシステムを柔軟に構築する努力をした。このことが売り上げの上昇につながっている。しかしこの間、職員の入れ替わりが頻繁で、各職員の負担が大きくなり改善すべき課題である。来年度は開園10年目を迎えるとともに3期目の指定管理期間の中間となり、さらなる充実を目指すことが必須の課題である。

子ども育成事業では、コロナの影響により、学生ボランティアであるキャンプカウンセラー育成に大きな打撃を受けた。その悪影響から、まだ抜け出せていないことが大きな課題となっている。昨今は大学生をめぐる環境も変化し、非常に

忙しい学生が多く、事業の必要スタッフ数を確保できなくなっている。

これは長年、友愛の丘の子どもキャンプ事業を支え続けて来たキャンプカウンセラー制度を大きく見直す時期に来ていることを示唆しているように思われる。また城陽五里五里の丘で育成しているプレイリーダーも同様に、キャンプカウンセラー、プレイリーダー共に曲がり角にあるのかもしれない。

しかし、青少年の野外活動を通じた育成は、本法人の中心的なミッションであり、その中において彼ら青年たちの果たす役割は非常に大きなものがある。これからも持続する社会を担う青少年の育成は、私たちに共通する大きな課題である。私たちもまた持続的に活動を続けていけるシステムや運営環境を模索する必要があるだろう。

さらに子育て環境日本一を目指す京都府の方針に即すべく、新しい環境に向けて新規事業の模索も始めた。来年度より新規事業を開始すべく準備を進めた。

本法人の周囲では新名神高速道路が、遅れながらも姿を現しつつある。その開通の暁には周辺環境が激変するが、激変をチャンスととらえる準備を進めていきたい。

1 公 1 野外活動や青少年育成を行う活動

事業の概要

コロナが第五類に移行こともあり、単発の事業の受入れ人数を増やして実施した。しかしかつてのように、多数のキャンセル待ちが出るほどの応募はないが、キャンプ参加希望者は増えてきた。

今年度は3団体合同で実施する「釣りキャンプ」を実施するなど、新たな事業にも取り組んだ。参加費用の算出、参加者募集方法、3団体での調整など課題はあったが、自分の力で釣った魚を捌き食べるといった食育につながる内容でもあり、よく似た内容になりがちな単発キャンプ事業の新しいテーマとなる事業となった。

スキーキャンプも継続的に参加している子ども達が高校生ジュニアリーダーとなり、スキー検定(SAJ1級、2級)に合格する技術を持ったスタッフとして参加してくれているため、スキーを楽しみたい参加者やスキーの技術を磨きたい参加者の要望にも応えられるようになった。

通年事業については、定員に達していないものもあったが、スタッフ数が不足していたこともあり、大きく募集することができなかった。しかし途中入会

者が少なく、1年間継続的に参加する会員が多かった。そのためねらいに沿った内容を、その月ごとの参加者に合わせて実施できるなど、自然体験活動の効果としては大きかったと感じている。

大学生キャンプカウンセラーについては、子どもたちの夏休み期間に学業のあるものが多く、参加できるメンバーに偏りがある。しかも人によって活動頻度の差が甚だしく、実質活動数が少ないことで受け入れられる参加者数に限りが出てしまっているのが課題である。

なお大正池サマーキャンプ※は、台風の影響により当初2泊であったものを急遽1泊に変更した。そのためキャンセルが数件あった。

また、子育て環境日本一を目指す京都府の方針を受け、本法人でも新たな事業の模索をはじめた。以前からご縁のあった「Kプラスキッズ商会（小谷尚江代表）」の協力を受け、数度の検討会を重ねた結果、2歳児を対象にした野外活動クラブ「コキッズ倶楽部」を新年度秋ごろより開始することになった。今年度はその前段階として「コキッズフェス2024」を2月14日に城陽五里五里の丘で開催し、好評を得て新規事業実施の手応えとなった。

表 1-1 単発事業の詳細

名称	実施日	対象	参加費	定員	参加者	スタッフ数
釣りキャンプ	6月3日～ 4日	小学3年生～高 校3年生	40,000円	30名	12名	8名
夜のいきもの 探しキャンプ	7月27日～ 7月28日	小学1年生～ 中学3年生	17,000円	15名	16名	6名
いきものさが しキャンプ	8月1日～ 8月2日	年長児～ 小学4年生	17,000円	15名	13名	6名
はじめてのお とまりキャン プ	8月6日～ 8月7日	年少児～ 小学3年生	17,000円	25名	27名	10名
大正池サマー キャンプ※	8月16日～ 8月17日	小学1年生～中 学3年生	30,000円	20名	17名	9名
夏の森あそび キャンプ	8月20日～ 8月21日	年少児～小学3 年生	17,000円	25名	25名	16名

夏の工作キャンプ	8月23日～ 8月24日	年少児～中学3 年生	17,000円	25名	26名	12名
夏のクッキング グキャンプ	8月23日～ 8月24日	年中児～ 小学4年生	17,000円	25名	21名	11名
釣りキャンプ	9月30日～ 10月1日	小学3年生～高 校3年生	40,000円	20名	8名	8名
秋のクッキング グキャンプ	11月25日～ 11月26日	年中児～中学3 年生	17,000円	15名	16名	12名
おちばであそ ぼうキャンプ	12月16日～ 12月17日	年少児～ 小学6年生	17,000円	15名	10名	9名
1月スキーキャ ンプ	1月6日～8 日	小学1年生～中 学3年生	59,000円	30名	15名	10名
2月スキーキャ ンプ	2月10日～2 月12日	小学1年生～中 学3年生	59,000円	30名	22名	11名
長野県スキー キャンプ	2月22日～2 月25日	小学1年生～高 校3年生	73,000円	30名	16名	11名

表 1-2 通年事業の詳細

部門名	実施回数	対象	年会費	定員	会員数	スタッフ 数
りとるちきゅうく らぶ	全20回	年少児～年長児	55,000円	20名	15名	0名
じゅにあちきゅう くらぶ	全20回	小学1年生～ 小学3年生	55,000円	30名	26名	3名
サタデーキッズク ラブ	全30回	年中児～ 小学4年生	77,500円	30名	16名	5名
パイオニアアドベ ンチャークラブ	全10回	小学4年生～中 学3年生	70,000円	20名	18名	4名

2 公2 野外活動や青少年育成に携わる人材を育成する事業

2-1. 友愛の丘キャンプカウンセラー

設立当初より、友愛の丘を利用するキャンパーの援助と、キャンプ場の充実などを目的として、キャンプカウンセラーを育成している。キャンプカウンセラーは主として大学生ボランティアによって組織され、育成されたキャンプカウンセラーは、友愛の丘を利用する青少年キャンパーの援助にだけでなく、友愛の丘主催キャンプや通年活動などの指導にもあたっている。

今年度はコロナが第5類に移行されたこともあり、対面で様々な知識、技術を学びたいという意欲が高く、特に1年目、3年目のキャンプカウンセラーが積極的に参加している様子が伺えた。しかし4回生は教員採用試験、就職活動により数ヶ月休むものが多く、2年目のメンバーはあまり積極的な参加がなく、確保できるスタッフ数が減る原因となっている。

来年度は、意欲の高いメンバーを中心に、この活動が多く学びの場や挑戦できる場、自分たちの居場所となるような場となっていることを伝えていきたい。そして自然体験活動の重要性や、この活動が子ども達の心の成長につながることなどの社会的意義の高いことをしっかりと伝えていきたい。

表 2-1-1 キャンプカウンセラー研修実績報告

日程	内容	場所	出席者数
4月2日	現役カウンセラー研修	友愛の丘	18名
4月11日	全体ミーティング	ひと・まち交流館	13名
4月25日	保護者対応	ひと・まち交流館	6名
5月9日	全体ミーティング	ひと・まち交流館	12名
5月23日	ふりかえり、フィードバックとは	ひと・まち交流館	2名
5月27日～ 28日	フレッシュ研修	友愛の丘	16名
6月6日	全体ミーティング	ひと・まち交流館	12名
6月20日	アイスブレイクとは	キャンパスプラザ京都	10名
7月4日	全体ミーティング	ひと・まち交流館	17名
7月15日～ 16日	安全について 夏前の技術研修	友愛の丘	11名
8月28日～ 29日	夏の振り返り、片付け	友愛の丘	14名

9月12日	全体ミーティング	ひと・まち交流館	13名
9月26日	コミュニケーションとは	ひと・まち交流館	11名
10月10日	全体ミーティング	ひと・まち交流館	15名
10月24日	グループ内での役割とは	ひと・まち交流館	13名
10月28日 ～29日	合同研修会（京都、石川、富山、新潟の6団体）	石川県能登島	126名のうち12名
11月7日	全体ミーティング	ひと・まち交流館	19名
11月11日 ～12日	秋のフレッシュ研修	友愛の丘	18名
11月21日	価値観の違いとは	ひと・まち交流館	14名
12月5日	全体ミーティング	ひと・まち交流館	16名
12月19日	2023年のふりかえり	ひと・まち交流館	20名
12月25日 ～27日	スキー研修	岐阜県	16名
1月16日	全体ミーティング	ひと・まち交流館	17名
2月13日	全体ミーティング	友愛の丘	15名
3月5日	1年間のまとめ	ひと・まち交流館	11名
3月19日	新年度について	友愛の丘	10名

2-2. ジュニアリーダー

中学生・高校生の社会参加と居場所作りを目的に、ジュニアリーダーを育成している。ジュニアリーダーは主に通年事業の元参加者で構成されており、友愛の丘主催キャンプや通年事業でキャンプカウンセラーの補佐にあたっている。

今年度はジュニアリーダーのみの研修、キャンプカウンセラーとの合同研修を実施し、スタッフ同士の関わりを多く持つことができた。大学生スタッフが持っていない技術（スキーSAJ1級）を活かせる機会も多く、ジュニアリーダーのやりがいにもつながっている。ジュニアリーダーの活躍を見て憧れをもつ参加者も増えてきている。来年度もジュニアリーダーの技術を活かせる場を広げていきたい。

表 2-2 ジュニアリーダー研修一覧

日程	内容	場所	出席者数
4月30日	名前決め、グループワーク	友愛の丘	7名

7月15日～16日	コミュニケーション研修、安全研修	友愛の丘	6名
12月25日～27日	スキー研修	岐阜県	2名
3月28日	1年間の振り返り	友愛の丘	4名

2-3. 青少年野外活動指導者育成事業（京都府青少年課受託事業）

京都府から委託された青少年野外活動指導者育成事業、および、定期的に行われる各種の勉強会、厳冬期トレーニングを目的とした長期の「パイオニアキャンプ」などのトレーニング事業を実施した。対象が一般のものは、参加者から部分参加の要望もあり、見込みより申込者が増えた。しかし、体調不良やインフルエンザの蔓延により直前キャンセルが多くなった。プログラム自体の変更はなかったが、事前に決めていた班や食材を変更するなど、直前での変更を余儀なくされた。

なおパイオニアキャンプでは、京都府キャンプ協会の協力を得て、公益社団法人日本キャンプ協会公認キャンプインストラクター資格講習会として開催した。

表 2-3 青少年野外活動指導者育成事業一覧

名称	実施日	対象	参加者数
京都ティーンズチャレンジキャンプ	8月11日～ 8月13日（宿泊）	小学4年生～ 高校3年生	15名
青少年野外活動指導者交流研究会「スキルアップ研修会」	9月16日～ 9月17日（宿泊、日帰り）	一般	31名
青少年キャンプ指導者講習会「パイオニアキャンプ」	1月30日 （対面、リモート） 2月28日～3月1日 （宿泊または日帰り）	一般	理論47名 実技25名
京都ティーンリーダーズチャレンジキャンプ	3月24日～26日（宿泊）	小学5年生～ 高校3年生	11名

3 公 3 自然環境保全施設の運営を通じた野外活動及び青少年育成事業

3-1. 京都府立木津川運動公園指定管理事業

2023 年度は指定管理期間 3 期目の 2 年度目（2 年目、累積 10 年目）だった。京都府立木津川運動公園の取り組みの基本方針は表 3-1-1 の通り。

第 3 期 指定管理募集の要項では、新たに「プロフィットシェアリング」（以下 P.S.）のルールが追加された。P.S. とは、自主事業の利益の一部（2022 年度から 2026 年度は 5%）を京都府に還元する仕組みである。他団体主催のイベントを本公園も共催することで、公園使用を裁量でき、公園養生協力金も本公園に支払われることになる。P.S. の導入によって、これまで以上に積極的に事業を主催、共催することができるようになった。夏の七夕スカイランタン祭り（夜間開催、入場料有料）や年 4 回の Pocket Marche（火気使用、キッチンカー設置など）、秋の城陽秋花火大会や和っ祭（わっさい）等の持ち込みイベントを幅広く柔軟に受け入れられるようになった。新たな事業の持ち込みもあった。

これまで京都府の予算に頼っていた事業備品の充実や施設・設備の補修に、P.S. で得た利益に充てることができるようになり、2023 年度はキャンプ用シュラフやタープテントの更新ができた。P.S. が適用される自主事業（収益事業。一部公益事業）では、その利益の一部（今期は 5%）を京都府に納付することとなっている。2023 年度の納付額は 97,346 円になる見込みである。

年間来園者は 97,000 人を超えた。コロナ前の数字（10 万人超）に戻りつつある（表 3-1-2、表 3-1-3）が昨年度と比較すると大きな差はなかった。新しい持ち込み事業に参加者の実績が伴うまでには数年かかる見込み。2023 年度に実施した事業結果は表 3-1-4 並びに表 3-1-6 の通り。

公園で活動するボランティアグループは現在 4 団体（森守クラブ城陽、はらっぱ花壇クラブ、ごりごりの丘 プレイリーダー、五里五里紙ヒコーキくらぶ）ある。それぞれに担当職員を置き、その組織化とフォローアップを行っている。

府民協働による自然再生の森づくりでは、協力してくださる団体・企業の参加が戻りつつある。森守クラブ城陽がまもなく結成 15 年を迎えるにあたり、若返りが課題である。

森の成長はほぼ順調である。12 月から 3 月にかけておよそ 150 本の森の木を間伐した。主に公園北側と西側の森の木を間引いたので、2024 年度以降は南側を間伐する見込み。当初の予想よりも植樹した木が定着しやすかったため、間伐の本数が多くなっている。チェーンソーで伐採できる程度の小さい木の間に必要な間伐を済ませたい考え。これまでの木々の定着状況を考慮して、最近の植樹

では単位区画あたりの植樹本数をこれまでの 9 本から減らして 3～4 本で実施している。2023 年度も、シカの被害が目立った。冬だけでなく暖かい季節にも花壇の花や森の木の皮が食されている。さまざまな対策を試しているが、被害は公園の外にまで広く分布しており、自治体との協力が必要。活動実績は表 3-1-5 の通り。

大学生スタッフの「ごりごりの丘 プレイリーダー」は合計 22 人が在籍した。「生きものみつけ」や「里山 KIDS クラブ」といった通年会員事業や、「はらっぱ 星空観望会」「カヤネズミを守ろう!」といった自然観察・環境教育事業、「ごりごりの丘 プレイパーク」や「こま凧をつくって遊ぼう!」「飛ばせ! ペットボトルロケット」のような親子と一緒に遊ぶ事業に参加し、子どもたちの心と体を育む現場に寄り添いながら、自身の心とスキルも成長させた。10 月には全国の野外活動ボランティアの交流会を石川県能登島で行った。

2023 年度の卒業生が巣立ち、現在プレイリーダーは 11 人が在籍している。コロナが明けて活動範囲が広がった大学生が散開している傾向があり、新入生の募集が難航している。

表 3-1-1 京都府立木津川運動公園の基本方針と取り組みの一覧

基本方針等	具体的な取り組み
1. 府民参画により森を再生する 府民と協働で、山砂利採取地を豊かな森に再生する	② 森づくりの作業の支援
	② 森の仲間づくり（多様な団体等の参画の推進）
	③ 森の人材育成
2. 森を学ぶ・楽しむ場とする 森を学び楽しむ活動を提供する	② 森を活かした季節のにぎわいイベントの開催
	② 環境学習プログラムの提供
3. 快適な空間づくり 芝生広場や水辺など美しい公園の維持管理を徹底する	① エントランスから始まるウエルカム的心
	② 快適な芝生広場の管理
	③ おおらかで細やかな水辺の風景づくり
	④ 花の小径づくり
	⑤ 特色ある原っぱの風景づくり
	⑥ 効果的・効率的な維持作業
4. 持続可能な管理運営のシステムづくり	① 森づくりの組織づくりと運営
	② 公園管理データの一元管理（植栽、修繕）
	③ 業務の評価と改善システム（PDCA サイクル）
5. 公園を広く知ってもらおう	① 多様な広報の推進
	② 地域や団体等府民との連携による知名度の向上

公園面積 約 13ha

大芝生広場 約 19,000m²、ファミリー広場 約 4,800m²、多目的広場 約 2,900m²、ちびっこ広場 約 1,300m²、

サークル広場 約 1,100m²、果樹園 約 6,200m²、南エントランス 約 3,200m²、参画・再生の森 約 35,000m²、

防災調節池 約 21,000m²、休憩施設 4棟、展望台 1棟、駐車場 約 3,900m²など

表3-1-2 2023年度 京都府立木津川運動公園 開園日数、利用者数、駐車台数等集計

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間合計
開園日数(日)	26	28	24	27	25	26	27	26	24	26	24	27	310
利用者(人)	10020	7070	5190	10800	2420	6370	14770	21600	3310	5330	3570	7100	97550
駐車場(台)	2890	1700	1280	1058	680	1720	2050	1780	1340	1750	1455	2630	20333
会議室利用者(人)	314	345	312	362	442	364	332	280	317	332	422	359	4181
指定管理事業参加者数(人)	223	111	296	180	15	379	336	466	155	229	172	82	2644
自主事業参加者数(人)	3761	1228	2139	8633	688	2688	10779	16879	544	1002	553	1415	50309
備考	1-2日ポケ丸	10日スタート式、21日音楽祭、21日GSの日	2日臨時休園(大雨警報) 3-4日ポケマル	28-30日七夕スカイランタン祭り	15日臨時休園(台風7号)	24日和つ祭	1日秋花火、7-8日ポケマル、15日Hilo Maru、22日緑化F	12日熱気球F&ごちF、25-26日ポケマル		2-3日臨時開門日、14日新春!		10日RUN、20日OLC、20日ふみちゃんマルシェ	

表3-1-3 京都府立木津川運動公園 開園日数、利用者数集計

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間合計	
指定管理 第一期	2014年度 (平成26)	開園日数(日)	26	26	26	26	25	26	25	26	23	23	24	27	303	
		利用者(人)	4120	5125	2850	1770	1375	3640	13760	10610	2234	2618	3010	6970	58082	
	2015年度 (平成27)	開園日数(日)	26	27	26	26	27	26	26	26	26	23	23	26	26	308
		利用者(人)	6050	10955	4540	3660	3520	5520	15740	8495	2480	4320	3222	6860	75362	
	2016年度 (平成28)	開園日数(日)	26	28	25	27	28	26	27	27	23	23	24	26	310	
		利用者(人)	4440	9940	3260	3570	4735	7380	15560	8510	4170	3930	4390	10090	79975	
											合計来園者数	213419				
											平均来園者数(年)	71140				
指定管理 第二期	2017年度 (平成29)	開園日数(日)	26	28	25	27	26	26	27	26	24	24	24	26	309	
		利用者(人)	8540	10860	4788	4550	4107	6180	17055	8934	3500	3420	3750	9430	85114	
	2018年度 (平成30)	開園日数(日)	26	27	26	27	26	26	27	25	23	23	24	28	308	
		利用者(人)	7083	9771	5370	3540	3310	5140	28532	9647	3450	4040	4060	21810	105753	
	2019年度 (平成31) (令和元)	開園日数(日)	26	27	26	27	26	26	25	26	23	23	25	27	307	
		利用者(人)	6020	12078	4430	3910	2890	6220	24650	12450	4110	5930	7160	14480	104328	
	2020年度 (令和2)	開園日数(日)	25	27	26	27	27	26	26	26	23	23	25	27	308	
		利用者(人)	10560	9890	5580	3110	3870	6570	7960	7270	4915	3810	8420	7230	79185	
	2021年度 (令和3)	開園日数(日)	26	27	26	27	26	26	27	26	23	23	25	26	308	
		利用者(人)	8010	4420	2830	3600	2490	2300	9500	8050	3480	5430	4880	6310	61300	
											合計来園者数	435680				
											平均来園者数(年)	87136				
指定管理 第三期	2022年度	開園日数(日)	26	28	25	27	28	25	27	27	23	24	26	26	312	
		利用者(人)	9530	9190	6660	3310	11990	7050	12330	11320	12020	4060	3540	6390	97390	
	2023年度	開園日数(日)	26	28	24	27	25	26	27	26	24	26	24	27	310	
		利用者(人)	10020	7070	5190	10800	2420	6370	14770	21600	3310	5330	3570	7100	97550	
	2024年度	開園日数(日)														
		利用者(人)														
	2025年度	開園日数(日)														
		利用者(人)														
	2026年度	開園日数(日)														
		利用者(人)														
令和9年	開園日数(日)															
	利用者(人)															
令和10年	開園日数(日)															
	利用者(人)															

表3-1-4 2023年度 指定管理事業実施結果一覧

事業名	実施日	参加者	実施回数	開催頻度	備考
		(人)	(回)		
A 子ども・親子対象事業					
その他	なし				
合計(A)		0			
B 一般対象事業(環境教育)					
再生の森づくり	年間合計	813	48	月4回	参加費無料、8月休み。雨天活動休止
花壇をつくろう	年間合計	181	93	週2回	参加費無料
生きもの塾	年間合計	87	4	年4回	参加費無料
合計(B)		1,081			
C 一般対象事業(その他)					
幼児プレイパーク	年間合計	625	20	月2回 8月除く	参加費無料
ごりごりの丘 プレイパーク	年間合計	938	12	月1回 8月除く	参加費無料
その他	なし				
合計(C)		1,563			
合計(A) + (B) + (C)		2,644			

表3-1-5 2023年度 再生の森づくり(森守クラブ城陽)活動実績

日	月	日	時間	天気	活動区分	活動内容										定例		会議		定例外		合計		
						植樹	鉢上・鉢替	間伐・枝打ち	資材づくり	植樹準備	草刈・つる取	会議	その他	他	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)					
4	月	2	10:00~12:00	晴	定例															13			13	
4	月	8	10:00~12:00	曇	定例															10			10	
4	月	21	10:00~12:00	晴	定例															9			9	
4	月	26	10:00~12:00	雨	定例															7			7	
4	月	26	11:00~12:00	雨	会議															7			7	
5	月	7	10:00~12:00	大雨	休み															0			0	
5	月	13	10:00~12:00	曇	定例	●12														8		1	9	
5	月	19	10:00~12:00	雨	定例															4			4	
5	月	24	10:00~12:00	晴	定例															10			10	
6	月	4	10:00~12:00	晴	定例	●70														11		12	23	
6	月	10	10:00~12:00	晴	定例															9			9	
6	月	16	10:00~12:00	晴	定例															10			10	
6	月	28	10:00~12:00	晴	定例															10			10	
6	月	28	11:00~12:00	晴	会議															10			10	
7	月	2	9:30~11:00	晴	定例															8			8	
7	月	8	9:30~11:00	晴	定例															13			13	
7	月	21	9:30~11:00	晴	定例															11			11	
7	月	26	9:30~11:00	晴	定例															13			13	
8	月	6	9:30~11:00	休み	休み																		0	
8	月	12	9:30~11:00	休み	休み																		0	
8	月	18	9:30~11:00	休み	休み																		0	
8	月	23	9:30~11:00	休み	休み																		0	
8	月	30	10:00~11:00	晴	会議															10			10	
9	月	3	9:30~11:00	晴	定例															13			13	
9	月	9	9:30~11:00	晴	定例															10			10	
9	月	15	9:30~11:00	晴	定例															10			10	
9	月	27	9:30~11:00	晴	定例															11		1	12	
10	月	1		休園日	休み																		0	
10	月	14	10:00~12:00	曇のち雨	定例															8			8	
10	月	20	10:00~12:00	曇	定例															10			10	
10	月	21	9:20~11:20	晴	定例外	●30																28	37	
10	月	22	終日	晴	定例外	●32																12	64	76
10	月	25	10:00~12:00	晴	定例															10			10	
10	月	25	11:00~12:00	晴	会議															10			10	
11	月	5	10:00~12:00	晴	定例															12			12	
11	月	11	10:00~12:00	晴	定例															11			11	
11	月	12	終日	曇時々雨	定例外	●40																12	148	160
11	月	17	10:00~12:00	雨	定例															3			3	
11	月	19	10:30~12:00	晴	定例外	●20																4	14	18
11	月	22	10:00~12:00	晴	定例															7			7	
11	月	28	9:00~12:00	曇	定例外															7		70	77	
12	月	3	10:00~12:00	晴	定例	●22														9		1	10	
12	月	9	10:00~12:00	晴	定例															10			10	
12	月	15	10:00~12:00	晴	定例															12			12	
12	月	16	10:00~12:00	曇時々雨	定例外															12			12	
12	月	27	10:00~12:00	晴	休み																		0	
12	月	15	11:00~12:00	晴	会議																		0	
1	月	7	10:00~12:00	晴	定例															13			13	
1	月	13	10:00~12:00	晴	定例															9			9	
1	月	19	10:00~12:00	晴	定例															13			13	
1	月	24	10:00~12:00	晴	定例															8			8	
2	月	4	10:00~12:00	晴	定例	●3*														10			10	
2	月	10	10:00~12:00	晴	定例	●4*														7			7	
2	月	16	10:00~12:00	晴	定例															8			8	
2	月	28	10:00~12:00	晴	定例															9			9	
2	月	28	11:00~12:00	晴	会議															9			9	
3	月	3	10:00~12:00	晴	定例															8			8	
3	月	9	10:00~12:00	晴	定例															11		6	17	
3	月	15	10:00~12:00	晴	定例															8		3	11	
3	月	27	10:00~11:30	晴	定例															13			13	
3	月	27	11:00~12:00	晴	総会															13			13	

表3-1-6 2023年度 自主事業実施結果一覧

事業名	実施日	参加者	実施回数	開催頻度	備考
		(人)	(回)		
A 子ども・親子対象事業					
里山KIDSクラブ	年間合計	115	11	月1回(8月除く)	年36,000円(途中参加可能)。体験1回3,000円。
生きものみつけ	年間合計	169	12	月1回	年11,000円(初回無料、途中参加可能)
はらっぱおえかき	年間合計	161	6	不定期	1人300円
夏のキャンプ	年間合計	37	2	不定期	
その他	年間合計	73	4	年4回	
合計(A)		555			
B 一般対象イベント					
こま凧を作って遊ぼう!!	年間合計	165	9	不定期	凧1枚600円
飛ばせ! ペットボトルロケット	年間合計	215	6	不定期	1基600円。
ペットボトルロケット発射会	年間合計	19	6	不定期	1基200円。
季節的な主催自主事業	年間合計	15,800	3	不定期	
いきなりライブ	年間合計	165	2	不定期	
里山体験	年間合計	15	2	不定期	
森の養成講座	年間合計	57	4	不定期	
果樹関係	年間合計	106	20	不定期	
物づくり体験	年間合計	318	8	不定期	
バーベキューナイト	年間合計	24	5	不定期	
火起こし体験	年間合計	164	16	不定期	
その他	年間合計	0	0	不定期	
合計(B)		17,048			
C 物販、貸出、パートナー関係					
物品販売	年間合計	-			
物品貸出	年間合計	-			
自動販売機	年間合計	-			
オープンデー事業	年間合計	1,790	56	週1回~	7/15-8/31サマータイム(週2回)
非営利・プロパートナー	年間合計	54			
イベントパートナー	年間合計	25,918			
はらっぱ太極拳	年間合計	232	24	月2回	1人1回300円
楽しもう大正琴	年間合計	242	24	月2回	1人1回200円
かんたん絵画教室	年間合計	151	19	月2回	1人1回200円 12月からは月1回
)	年間合計	210	9	月1回	2歳未満 中学生以上200円、小学生100円、幼児以下無料
大空へ紙飛行機を飛ばそう!	年間合計	86	5	不定期	1機200円
こどもアトリエ	年間合計	114	11	月1回	年18000円、教材費別途(年6000円、スケッチブック代1300円)
ごりごり紙ヒーロークラブ	年間合計	3,760	278	毎日	雨天活動休止
その他	年間合計	149			
合計(C)		32,706			
合計(A) + (B) + (C)		50,309			

自主事業

3-2. 公園の管理について

大芝生広場中央部、大芝生広場周縁部については、年間を通して直営管理をした。

例年通りカヤネズミ保護区の保全（選択除草）や草地のトラ刈り（高低差をつけた草刈り）を実施した。2023年度の生物調査では、これまで確認されているオツネトンボが確認されなくなった。セグロイナゴといった希少種に加えて、タニシやチョウでも希少種は確認された。

本園の管理は大きく分けて2つの考え方の部分に分かれる。公園部分と再生の森部分である。公園部分では今までの経験に基づく効率的で効果的な管理を目指した。

2024年度は開園して10年目となるため、門扉レールや溝に溜まった土や落ち葉の回収等を実施した。キャンプ備品（タープテント、シュラフ）の更新をするなど備品の更新も随時進めている。今後も直営管理をすることで、迅速で効果的、効率的な管理を進めていく。

今冬もシカが園内を行き来する姿が頻繁に目撃された。冬だけでなく春から秋にかけても、花壇の花や森の木々の新芽や皮をシカが食べる被害が相次いだ。

参画・再生の森や里山エリアといった再生の森部分では、生き物との共生を目指した。2020年3月末に展望台が供用され、来園者の散歩にさまざまなルートができていたようだ。季節の変化を楽しみながら定期的に散歩やジョギングする来園者の姿が増えた。

管理の実施詳細は、表3-2-1及び表3-2-2の通りとなった。

図3-2-1.
公園全域図

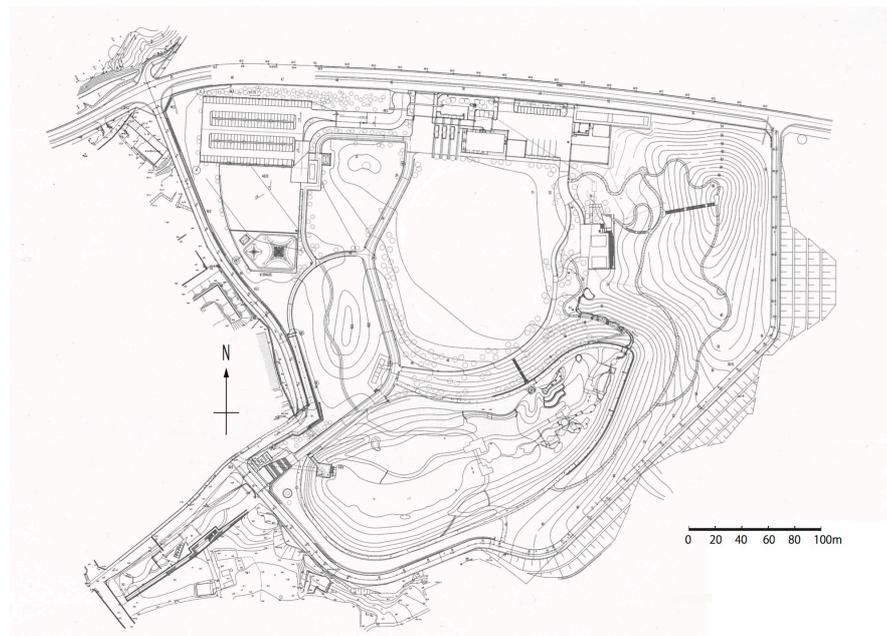


表3-2-1 2023年度3月末日現在 京都府立木津川運動公園 年間維持管理表 (表の数字は回数を示す)

		備 考												合計
		年回数												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
芝生地管理		2022年度	0	1	1	1	1	1	2	0	0	0	0	7
芝刈り・除草	大芝生広場中央部	2023年度	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	7
	大芝生広場周縁部、ファミリー広場、調箭池周辺	2022年度	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	7
芝施肥	状況に応じて行う	2023年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2022年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
芝補植	適宜	2023年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2022年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エアレーション	1回	2023年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		2022年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
目土掛け	1回	2023年度	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
		2022年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
灌水	適宜	2023年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2022年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
草地管理		2023年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
草刈り	南エントランス、管理事務所周辺、ほか	2022年度	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1
		2023年度	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	7
	園路沿い	2022年度	1	1	2	1	1	1	1	1	1	0	0	0
		2023年度	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9
	調箭池流入部、棚田、水際植栽部分	2022年度	1	1	1	2	1	1	1	1	1	0	0	0
		2023年度	1	1	1	2	1	2	1	1	0	0	0	0
植栽木管理 (高木管理)		2023年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
剪定	剪定・焼却	2022年度	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1
		2023年度	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
病害虫防除	随時	2022年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2023年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施肥	3年1回程度	2022年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2023年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支柱撤去	随時	2022年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2023年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
灌水	随時	2022年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2023年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
枯損木処理	随時	2022年度	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2023年度	1	2	0	0	0	3	2	1	1	1	1	1
植栽木管理 (中低木管理)		2023年度	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
刈込み	適宜	2022年度	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		2023年度	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
病害虫防除	発生時	2022年度	1	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	7
		2023年度	1	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	6
灌水	随時	2022年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2023年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施肥	3年に1回	2022年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2023年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苗木植栽木管理 (駐車場周辺、再生の森、公園外周園地、ほか)		2023年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
除草 (下草刈り)	1~8回	2022年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		2023年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
灌水	適宜	2022年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		2023年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表3-2-2 2023年度 3月末日現在 京都府立木津川運動公園 年間維持管理表 (表の数字は回数を示す)

		備考												合計		
		年回数												合計		
		2022年度	2023年度	2022年度	2023年度	2022年度	2023年度	2022年度	2023年度	2022年度	2023年度	2022年度	2023年度	2022年度	2023年度	合計
集落果樹林管理																
植	草刈り	5~8回	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	剪定	随時	1	1	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	9
	病害虫防除	発生時	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	灌水	適宜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	施肥	適宜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	草花管理															
	管	花壇・プランター	随時	5	6	2	4	5	6	6	4	2	3	2	2	47
		水際植栽管理	随時	7	6	4	5	3	4	7	6	2	2	4	3	53
		宿根類、花木類の補植	随時	1	2	2	2	1	2	1	2	0	0	0	0	12
		除草	10~15回	2	3	2	1	2	3	1	2	1	0	2	1	21
灌水		適宜	1	2	2	3	2	2	2	1	0	0	1	1	16	
施肥		適宜	2	1	3	3	10	3	1	0	1	1	1	0	26	
病害虫防除		発生時	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	11	
風台並木区域																
施		草刈り	7回	1	1	1	2	1	1	1	1	1	0	0	0	10
		除草、下草刈り	2~4回	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
	剪定	随時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	枯損木処理	発生時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	病害虫防除	発生時	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	6	
	清掃	随時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	設	園内清掃	週6回以上	26	28	25	27	28	25	27	28	23	23	25	26	310
		園内トイレ清掃	週6回以上	26	28	25	27	28	25	27	27	23	23	25	26	310
		建物清掃	随時	26	28	25	27	26	26	27	26	26	23	23	24	27
		排水・貯水設備清掃	1回	26	28	25	27	28	25	27	27	23	23	25	26	310
調節池清掃		随時	26	28	25	27	26	26	27	26	26	23	24	27	311	
保守・点検		随時	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	
施設点検		1回	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	9	
電気設備保守		月1回	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
遊具点検等		4回	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
巡回警備		随時	26	28	25	27	28	25	27	27	23	23	25	26	312	
			26	28	25	27	28	26	27	26	26	25	24	27	315	

4 収 1 野外活動や青少年育成のための宿泊施設、レクリエーション施設を提供する事業

4-1-1. 友愛の丘施設運営事業

友愛の丘での野外施設は、ボーイスカウトやガールスカウトなどの青少年少女団体に限らず、一般の家族、学校、クラブ活動、サークル活動、その他企業のレクリエーションや研修での利用を受け入れた。

4年前よりコロナの影響を強く受けていますが、主たる事業である校外学習の支援については、明確に回復の傾向が見えてきた。しかし、キャンプサイト利用者数は昨年度から伸び悩みが続いているため、今後は体験プログラムやイベント、キャンペーンや広報などを積極的に行なっていきたい。

また宿泊施設においては、ほとんどが学校のクラブ活動やサークル活動、企業による合宿、研修などであったため、大きく減少していたが、宿泊日数が3泊4日など、連泊の利用者の予約も入り出しており、こちらも回復の傾向が見えてきた。まだコロナ以前の勢いはないが、明るい兆しである。

施設の提供だけではなく、各団体や個人が行う野外活動プログラムの援助・指導の他、環境学習などの友愛の丘の施設事業として独自のプログラムを提供した。

そして、一昨年の中頃より施設の印象改善を強力に進めてきたが、別館並びに館内照明器具の老朽化が進んでおり、早期に更新の必要がある。

また今後、利用者の増加を見込んで以下のようなことに取り組んでいきたい。

利用増加に備える対応

トイレを含めた野外設備や案内看板の改善、駐車場の整備、
体験プログラムの検討実施、

故損木や獣害の対策と枯損木伐採に伴う植樹の実施、全体的な美化、
学校遠足に備える対応

利用者に対する入所説明の職員研修、レンタル備品の整備と管理

夏に備える対応

利用者への入所説明の職員研修、宿泊室の点検、エアコンの点検改修
各種掲示物の見直し、プールの維持管理

広報の強化

SNS などインターネットを通じた情報発信の強化
商業誌、地方誌との連携強化

周辺地域との繋がりを強化し魅力をアピール

その他

マスコットキャラクターの導入

自然を活かしつつ AI を取り入れた VR の導入、ChatGPT の活用

季節毎のイベント実施

秋冬に向けたキャンペーンの実施

自然×スポーツ体験、自然×エンターテイメントの融合

地元企業や地元住民とのタイアップや、各世代に向けたサービス提供
別館の改修に向けての準備、館内照明の更新など

施設の開設について

1 バーベキュー場、キャンプ場の開設

期間 通年、水曜休館

(年末年始、学校の長期休み期間、祝日、12月～2月などの期間を除く)

内容 学校、青少年団体、家族、地域グループ、サークル、スポーツ団体

企業等、団体、個人のバーベキュー、キャンプ等の野外活動

友愛の丘の施設事業として実施する体験プログラム等

大人や親子向けの単発の体験イベント等

2 宿泊、研修所の開設

期間 通年、水曜休館

(年末年始、学校の長期休み期間、祝日、12月～2月などの期間を除く)

内容 学校、青少年団体、家族、企業等団体、個人の行う集団生活指導、研修

3 野外活動を支援する事業

地域、文化等、趣旨に賛同できる活動、または地元で活躍される企業や団体などに積極的に支援した。

4 校外学習を支援する事業

中学校、高等学校、その他専門学校などが、主に春季に校外学習利用で、多くが実施された。教員との打ち合わせを綿密に進め、授業としての野外活動を支援した。通常のプログラム展開とは異なるもので、友愛の丘独自のメソッドで進めている。これらは収益事業の位置づけだが、公益的な意味の大きいものである。

4-1-2. 京都府立木津川運動公園施設運営事業

公園に来園する方々が快適に滞在できるよう、飲食物の提供や物品の販売・レンタル提供した。

①飲食物の提供

コカコーラやサントリーに自動販売機設置場所を提供することで、来園者が飲料やアイスクリーム購入の利便をはかった。売り上げの一部を城陽みどりのまちづくり基金に寄付するほか、本法人の収入とした。

②物品の販売・レンタル

来園者のために、凧などの物品販売や、ヨガマットや日陰テントなどの有料レンタル提供をした。

4-1. 友愛の丘利用の状況と、実施した主催事業について

今年度は、2年前のコロナ禍初期に比べると利用者数は幾分戻り、回復の兆しを感じられた。今年度も受付やデスクにパーテーションを設置し続けるなど、十分なコロナ感染予防の対策を取った上で営業するという方針をとった。

夏季休暇中の宿泊利用は、学校団体などが少しずつ戻ってきており、売上げ増加の兆しが見えつつある。また、一昨年から登録しているオンラインのキャンプ場予約サイトである「なっぷ」の売上は比較的続いているが、冬季の利用者は昨年を下回った。

今年度はそろそろコロナの影響も収束するかと思われたが、変異株による第7波、第8波による影響を強く受けることになった。しかし、春休みには常連校の合宿利用が入り、いくぶん回復したのではないかと思われる。

表 4-1-1 2023 年度友愛の丘月別施設利用者数 (人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
野 外	2023	2482	5043	2750	1980	1921	1203	1583	1541	367	122	242	628	19862
	2022	2066	3822	1618	1286	1473	780	1956	1220	565	200	161	730	15877
館 内	2023	82	261	256	463	937	141	152	151	194	18	24	595	3274
	2022	0	149	13	229	440	23	56	4	98	41	66	446	1565

図 4-1-1 月別売り上げ推移のグラフ（円）

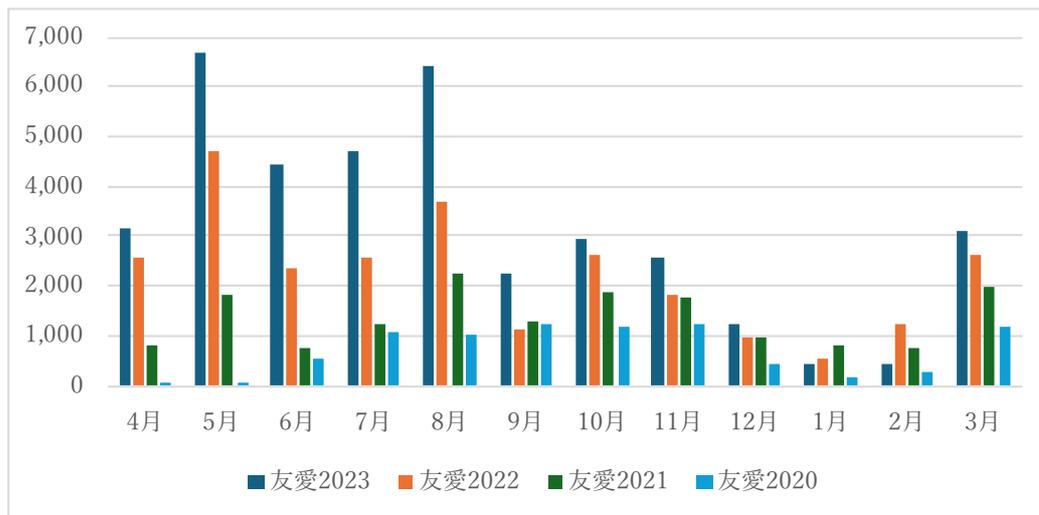
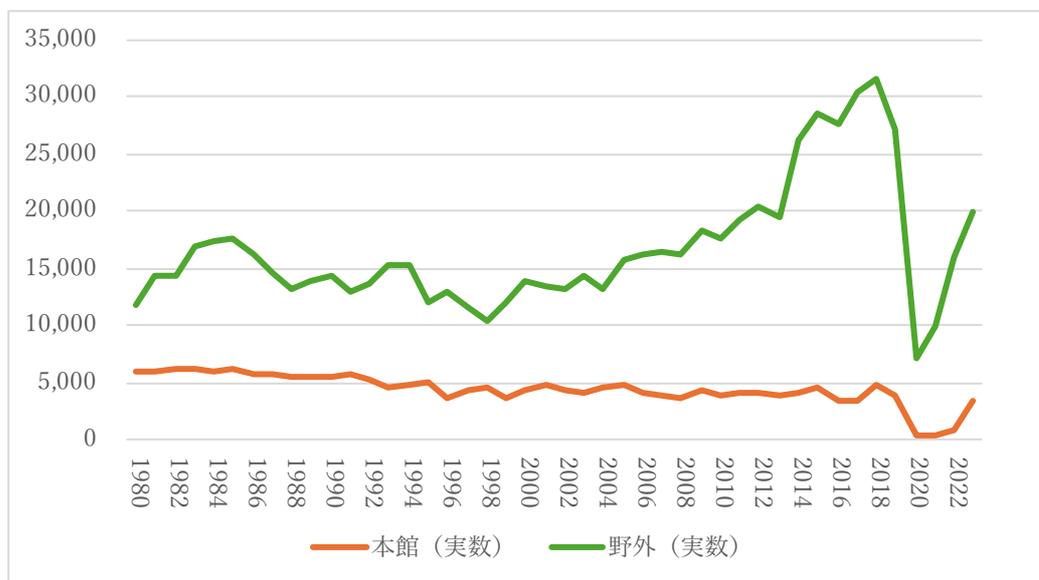


図 4-1-2 1980 年から現在までの友愛の丘利用者数の推移（人）



4-2 施設の整備について

例年は、学校遠足利用に対応するため70テーブル分以上の席を確保してきた。今年度は回復傾向にあるため、おおくま村など新サイトの設置。炭箱など機材の新規購入を行なった。

また夏頃から野外施設の印象改善を強く進めているが、宿泊棟やプール、うめの里屋根など、附属設備の老朽化が進んでいる。館内照明などの更新時期でもあり、大きな課題である。なお課題であったマイクロバスの更新は2023年5月に中古車を購入した

施設職員も多数が入れ替わったため、利用者にしかりとした対応が出来るよう研修も行っている。一昨年からのキャンプ利用者の増加を受けて、テントサ

イトの利用を増やせるように、場内整備や予約体制の改善など事務的な準備をすすめている。

図 4-2-1 館内施設の概要

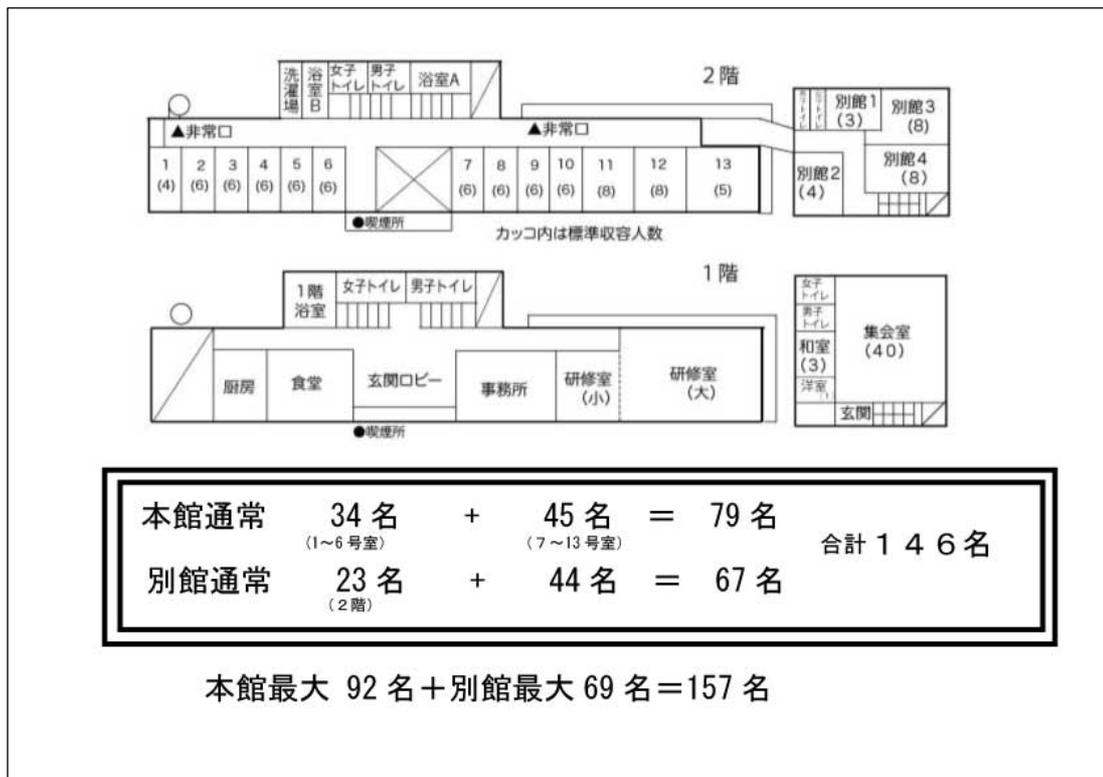
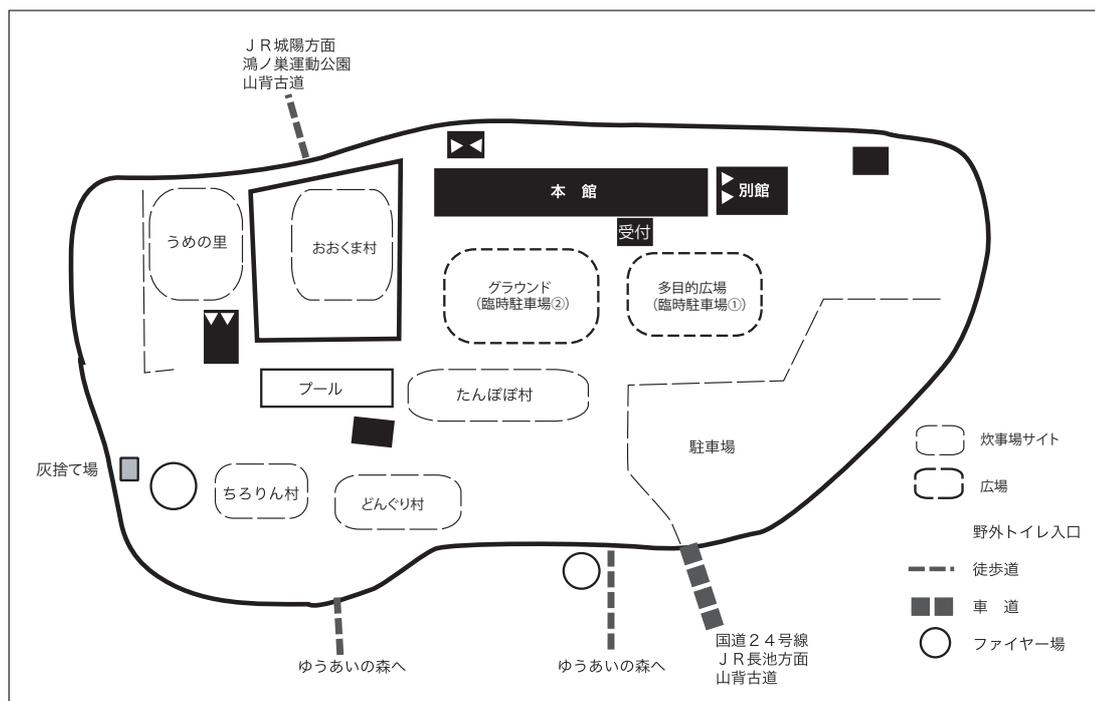


図 4-2-2 野外施設の概要



5 収 2 野外活動や青少年育成を行う団体と連携、協力する事業

5-1井手町野外活動センター大正池グリーンパーク指定管理事業

指定管理5年目の最終年となり、引き続き利用者に喜ばれる質の高いサービスの提供を目指した。京都新聞による大正池の紹介記事が掲載されたり、友愛の丘、城陽五里五里の丘と連携しホームページ（SNS）などを活用し、広報に力を注ぐことによって認知度もさらに上がってきた。

また府道沿いのほっこり茶屋と協賛でほっこりアートフェスを開催した。近隣施設と連携を密に利用者への充実したサービスの提供に努めた。

豊かな自然と大正池を生かした体験型野外活動を実施した。

ワタキューセイモア株式会社が CRS 活動として森林整備を実施した。山城森林組合によるバンガローデッキ側斜面の間伐など協力いただいた。大正池環境世話人会とともに年3回フィールド内草刈りを実施した。

当法人が育成している友愛の丘キャンプカウンセラー、ジュニアリーダー、城陽五里五里の丘プレイリーダーにより、大正池グリーンパークでの青少年事業を実施した。またコロナ禍を過ぎ地元小学生や関係団体の青少年育成事業も実施された。

施設の予約管理、設備の利用方法の徹底をはかった。日常的に清掃、点検、利用者のニーズに応えバーベキューサイトの配置転換、大型車の通行時の支障となる枝の間伐、バンガローからの景観を配慮し大規模な間伐などの作業を精力的に進めた。またクラブ活動団体のチェックイン時間の柔軟な対応など、積極的にコミュニケーションをとり、より良いサービスの提供を心がけた。

パンフレットの作成配布、ホームページ（SNS）での情報提供をはかり、友愛の丘と城陽五里五里の丘のネットワークを活用し幅広い広報を実施した。

館内利用者数（人）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023	137	380	116	233	348	217	210	188	151	16	51	202	2249
2022	269	286	92	288	380	229	332	146	132	67	97	268	2586
2021	105	223	79	289	399	186	175	178	139	32	34	121	1960

野外利用者数（人）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2023	123	267	151	126	72	206	184	240	24	39	48	123	1603
2022	220	352	106	144	78	144	269	193	24	31	18	33	1612
2021	174	388	166	296	120	263	264	212	46	34	24	108	2095

表 5-1-1 大正池グリーンパーク利用者数

図 5-1-1 館内利用者数の推移 (人)

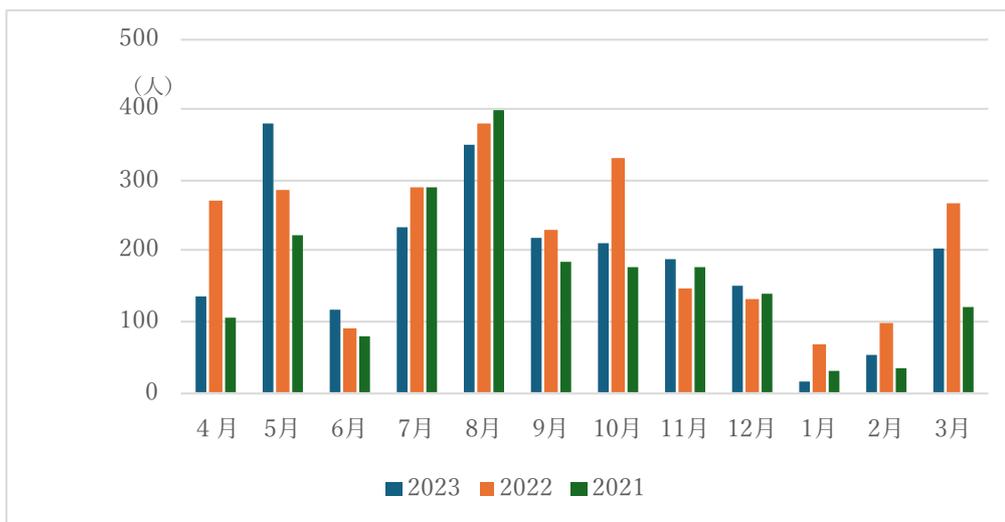
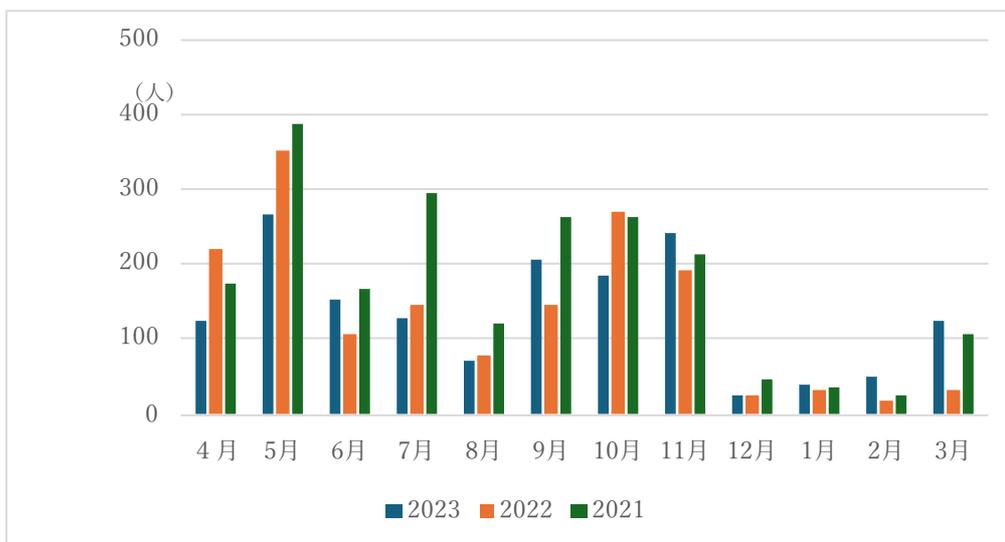


図 5-1-2 野外利用者数の推移 (人)



5-2. 丘の上ダイニングへの施設貸与

友愛の丘本館の一部を「丘の上ダイニング」に貸与した。利用者の給食や食材の提供を担っている。

6 法人業務

6-1. 役員等に関する事項

2024年3月現在

	役名	氏名	就任年月日	職業
1	代表理事	田口 博康	2015. 8. 1	団体役員
2	業務執行理事	濱野 一彦	2012. 5. 14	センター職員
3	業務執行理事	中村 さよ子	2013. 10. 22	センター職員
4	理事	松田 義弘	2016. 2. 2	センター職員
5	理事	松岡 勲	2012. 5. 14	会社社長
6	理事	荒巻 隆三	2012. 5. 14	京都府議会議員
7	理事	内藤 彰治	2012. 5. 14	団体役員
8	理事	鈴木 崇義	2018. 12. 13	センター職員
1	監事	道本 俊規	2013. 10. 22	会社経営
2	監事	北里 節郎	2022. 6. 21	会社役員
1	評議員	池西 正治	2013. 9. 17	小学校教諭
2	評議員	伊勢 達郎	2013. 9. 17	団体役員
3	評議員	衣川 斗美子	2013. 9. 17	保育園園長
4	評議員	園崎 弘道	2013. 9. 17	京都府議会議員
5	評議員	高桑 鉄則	2013. 9. 17	団体職員
6	評議員	田中 鈴美枝	2013. 9. 17	生涯学習センター講師
7	評議員	坪内 俊之	2013. 9. 17	会社経営
8	評議員	中村 三之助	2013. 9. 17	前京都市会議員
9	評議員	渡辺 邦子	2016. 2. 2	京都府議会議員
10	評議員	青柳 良明	2016. 6. 6	会社役員

6-2. 職員に関する事項

2024年3月31日現在

氏名	就職年月日	担当
濱野 一彦	1982. 4. 1	業務執行理事、財団本部長 府立木津川運動公園園長、友愛の丘所長
中村 さよ子	1997. 7. 7	業務執行理事、財団副本部長 総務部部長
田口 愛美	2008. 8. 21	子ども育成業務課長
松田 義弘	2010. 3. 21	理事、公園管理課
二本柳 知子	2014. 11. 17	公園業務課長、公園副園長
内田 提一	2014. 4. 1	公園管理課長
栗田 省吾	2015. 3. 3	公園業務課、公園庶務担当
益田 裕一	2017. 1. 1	公園管理課
関 伸一朗	2017. 5. 21	大正池業務課
人長 真弥	2017. 12. 27	大正池業務課
西田 良彦	2019. 4. 1	公園管理課
稲村 真悟	2019. 4. 21	子ども育成業務課
鳥越 拓	2022. 5. 21	友愛業務課
樋口 典之	2022. 7. 1	友愛業務課
鈴木 崇義	2024. 3. 21	公園業務課
内田 葵	2024. 3. 21	友愛業務課

6-3. 会議に関する事項

(1)理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2023. 5. 23	第 1 号議案 計算書類及び事業報告等承認の件 第 2 号議案 友愛の丘本館の照明修繕を検討する件 第 3 号議案 定期評議員会の開催を議決する件	可決
2024. 3. 14	第 1 号議案 2024 (令和 6)年度事業計画及び予算を承認する件 第 2 号議案 2024(令和 6)年の理事を検討する件	可決

(2)評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2023. 6. 18	第 1 号議案 計算書類及び事業報告等承認の件	可決

以上